



TITLE:

2,3泌尿器科疾患に対するエルコシン使用経験

AUTHOR(S):

天谷, 一栄

CITATION:

天谷, 一栄. 2,3泌尿器科疾患に対するエルコシン使用経験. 泌尿器科紀要 1958, 4(11): 655-656

ISSUE DATE:

1958-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111680>

RIGHT:

〔泌尿紀要4巻11号〕
昭和33年11月

2, 3 泌尿器科疾患に対するエルコシン使用経験

千葉大学医学部皮膚科泌尿器科教室 (主任 竹内教授)

講 師 天 谷 一 栄

Evaluation of Elkosin in Urinary Infection

Kazue AMAYA

From the Department of Urology, Chiba University School of Medicine

(Director : Prof. M. Takeuchi)

The trial involved 23 patients with chronic urethritis, 11 patients with acute cystitis and one patients with acute epididymitis. All of these patients, 35 cases, received four or six grams of Elkosin (N¹-(2,6-dimethyl-4-pyrimidyl) sulfanilamide) daily for three or six days. This drug was effective in 65.7 per cent of them, particularly for non-gonorrheal urethritis.

I 緒 言

エルコシンはスルホンアミドの一誘導体即ち N¹-(2, 6-ジメチル-4-ピリミジル) スルフアニルアミドで Meier 及びその協力者により研究され、欧洲に於ては1944年既に2340例に達する臨床試験に関する報告があり、米国に於ても広範囲の細菌感染に非常に有効であるとされている。而して本剤は従来のサルファ剤と比較し尿中に於けるアセチル化の程度が非常に低く、僅か10%に過ぎず(サルファメサジンは40~80%)、約3000の臨床例中結石発生の報告は全くなく、副作用も少く(約5%)、加えて通常用量により高い血中濃度に達し且つこれをよく持続する等の特長があるとされている。

チバ製品株式会社より本剤の提供を受け、2, 3 泌尿器科疾患に使用し得たので其の概略を報告する。

II 症 例

代表的症例のみ詳述し他は表として一括する。

症例1 野中某, 30才, 男子。

初診 昭和31年3月3日。

現病歴 正月に感染機会あり、1月12日尿道口より排膿あり、オーレオマイシン23錠内服、ペニシリン50万

単位宛6~7回注射せるも、排膿止まず外来を訪う。尿道分泌物に膿球、双球菌共に軽度認められる。

診断 慢性尿道炎。

治療並に経過 エルコシン1日6瓦3回分服9日間連用にて分泌物中に膿球、細菌全く認めざる様になり全治す。エルコシン内服の副作用認めず。

症例2 藤代某, 22才, 男子。

初診 昭和30年5月6日。

現病歴 2年前に尿道淋に罹患、医治を受けていたが、昨年4月には急性淋菌性右副睪丸炎を併発、外来を訪う。サルファ剤(3種混合)にて副睪丸炎は治せるも尿道分泌物に膿球あり、ブジー療法を続けていたが膿球とれず、時には中等度に膿球が見られた。

診断 慢性尿道炎。

治療並に経過 エルコシン1日6瓦3回分服3日間連用にて尿道分泌物は上皮細胞のみとなり全治す。

症例3 高沢某, 60才, 女子。

初診 昭和31年3月2日。

現病歴 10日前より排尿終末時疼痛、残尿感、尿意頻数、尿濁あり外来を訪う。尿沈渣に膿球、大腸菌多数認められ、膀胱鏡検査にては頸部に発赤、浮腫、膿苔あり、頂部、両側壁に血管拡張と小出血斑が認められた。

診断 急性大腸菌性膀胱炎。

治療並に経過 エルコシン1日6瓦3回分服3日間連用にて自覚症状非常に改善され、尿沈渣所見膿球僅

少, 大腸菌陰性となり, 更にエルコシン1日4瓦3日間投与にて全治す。

症例4 渡辺某, 32才, 女子。

初診 昭和31年2月8日。

現病歴 4日前より尿意頻数, 排尿痛あり外来を訪る。尿沈査には膿球及び球菌が軽度に認められ, 膀胱鏡的には三角部に高度の発赤, 浮腫がある。

診断 急性膀胱三角部炎。

治療並に経過 エルコシン1日5瓦3回分服3日間連用にて自覚症消失全治す。

其の他の例を含めて表に一括すると次の様になる。

エルコシン使用効果

診 断	使用 例数	著効	有効	無効	副作用	有効率
慢性尿道炎	23	3	11	9	0	60.9%
急性膀胱炎	11	2	6	3	0	72.7%
急性副睪丸炎	1	1	0	0	0	100%
計	35	6	17	12	0	65.9%

Ⅲ 総 括

慢性尿道炎の23例はすべて淋菌は証明されず, 従来の種々の治療の無効であつたもので, 所謂非淋菌性尿道炎であろうが, 淋疾後尿道炎

が大部分であると思われる。而して此の非淋菌性尿道炎はペニシリン等の抗生物質にては無効であると云はれている。斯る尿道炎に対しエルコシン1日6瓦3回分服3日乃至6日間連用にて60.9%の治癒率を挙げ得た。エルコシンの無効であつた9例は更に別の治療を試みたが容易に治し得なかつた。

急性膀胱炎の11例中, 有効であつた8例はエルコシン1日6瓦3回分服3日間連用にて全治している。

急性副睪丸炎の症例は, 膀胱結石の手術後に発熱, 腫張, 疼痛を以つて本症を発生した患者であつたが, エルコシン1日4瓦3回分服4日間投与にて全治した。

Ⅳ 結 論

慢性尿道炎23例, 急性膀胱炎11例, 急性副睪丸炎1例合計35例の泌尿器科疾患にエルコシンを1日4乃至6瓦3回分服3日乃至6日間連続投与し, 平均65.7%の治癒率を得た。慢性尿道炎では非淋菌性尿道炎に特に有効と思われた。

高安全性新サルファ剤

エルコシン

錠・末

高 安 全 性 多 種 類 ノ 細 菌 ニ 作 用 ・ 忍 容 量 大
適 応 症 : 肺 炎 感 冒 ・ 淋 疾 ・ 気 管 支 炎
包 装 錠 剤 (0.5g) 瓶 入 10錠 20錠 } 健 保 適 用
粉 末 瓶 入 100g・500g }

本剤に関する医療関係向説明書及び文献はチバ製品株式会社より送呈す。

製 造 武 田 薬 品 工 業 株 式 有 限 公 司 提 携 チ バ 製 品 株 式 有 限 公 司

大 阪 市 東 区 道 修 町 2 丁 目 27 番 地 大 阪 市 東 区 南 久 太 郎 町 4 丁 目 25 番 地 大 和 ビ ル

CIBA